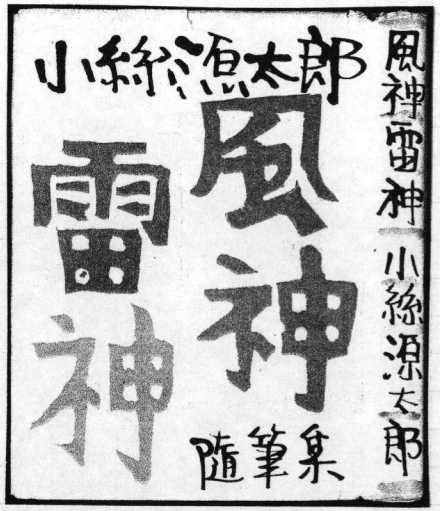小絲源太郎（こいとげんたろう）洋畫家。明治一十年七月十二日東京生れ、昭和五十二年一月六日歿（一八八七―一九七八）。本姓小糸。號朴亭、朴亭居。明治四十四年東京美術學校金工科卒、のち西洋畫科小學ぶも大正二年中退。昭和八年帝展審査員。金澤美術工藝大學・東京藝術大學各教授歷任。二十九年日本藝術院賞受賞、三十二年同會員、四十年文化勳章受章。著書『いとう句會句集』（合著、昭和一十一年五月二十日石川・いとう書房）、『じふろくささげーいとう句會隨筆集』（合著、昭和一十三年一月十五日黃楊書房）、隨筆集『冬の虹』（昭和一十二年十一月十五日朝日新聞社）、同『猿と話をする男』（昭和一十七年十一月一十日筑摩書房）、同『風神雷神』（昭和一十九年十一月一十五日読売新聞社）等。